



国土交通省技監 谷口 博昭

面の短期的対策と、中長期的な事業を分けて考える視点です。短期的には緊急対策としての「景気と雇用」です。これは、今動いている事業で対応することにになります。

都市は「街づくり」の視点が必要になります。道路の問題だけでなく、川と周辺の街づくりが大

中長期的には「新しい世紀の新しい公共事業が地方では、農林水産業

切、ということですが、最終的に、国づくりは人づくりだと思います。

今、雇用が非常に厳しい状況ですが、若い人がそれなりに活躍できる場を創出するには、何が必要

「ピンチはチャンス！」

経済の急激な落ち込みを受け、公共投資がピーク時の半分以下になっていの中で「公共投資で内需拡大を」の声が上がっています。

必要」と考えます。地球温暖化、省エネ、省資源、リサイクル。或いは防災・減災や維持・更新など

民間資金の活用も含め、技術革新を軸に、公共事業の将来像を探ることを求められている、とか、と言えましよう。

もう一つ大事な点は、都市でも地方でも、時代の最先端技術を使える

ここで大切なのは、当都市と地方では求められよう、技術開発が欠かせ

思いいます。